

(学年) 第1学年, (教科・科目) 公民・現代社会

個別学習

(単元) 職業生活と社会参加①

(本時のねらい)

- ・現代の社会生活と青年期の生き方についての関心を持ち、自身の将来の生活についてのあり方について考える。
- ・青年期の自己実現や職業生活、社会参加などについて理解させる。

(ICT活用方法)

- ・電子黒板の活用  
本時の活動内容の提示
- ・生徒1人1台端末の活用  
生徒によるインターネットによる検索

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・「職業の意義」について前回の授業内容について振り返る。	・「働くことが自立」につながり「自分の能力の発揮が自己実現」であることの意義を確認する。	
展開 30分	・前回のアンケート結果から「自分に向いている職業」について生徒1人1台端末を活用して、その職業をとおした社会参画について考えさせる。	・生徒が活動内容を理解できているか、生徒1人1台端末の操作が適切か、を確認のため適宜机間巡視を行う。	・生徒1人1台端末を活用し、「自分に向いている職業」について、その職業に就くための道筋や平均年収、その仕事のメリットやデメリットについてまとめる。
まとめ 5分	・本時の学習内容を振り返る。	・本時の要点をまとめて説明する。	

(授業の様子)



## 20301 現代社会\_6\_302 個別\_職業生活と社会参加

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

自分の選んだ「職業」ではあるが、ヒットするサイトによってデータが若干異なっていることなどから生徒には戸惑いが見られた。

インターネットで公開されているものがすべて正しいわけではなく、どれが正しいかを見極める「情報リテラシー」についても具体的に指導できるよい機会となった。